

経営比較分析表（令和元年度決算）

山口県 和木町

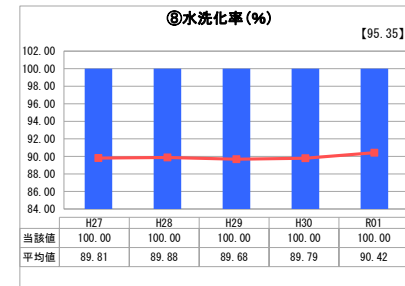
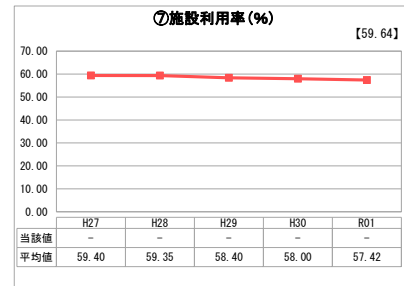
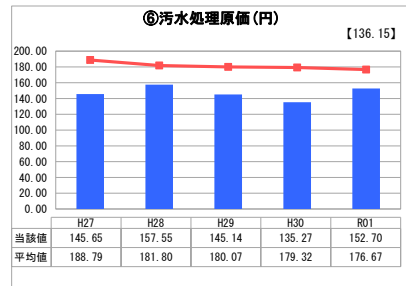
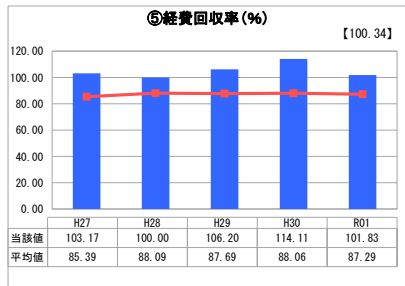
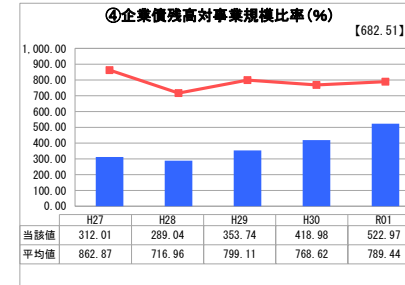
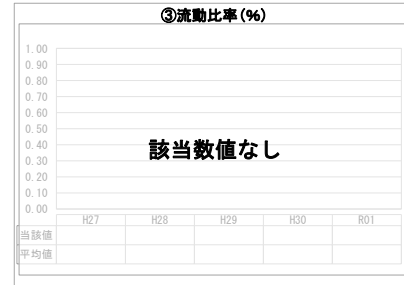
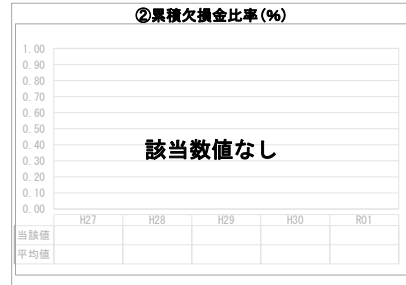
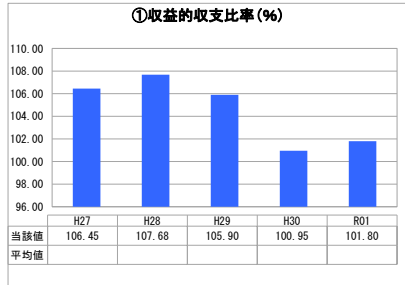
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	99.50	55.50	2,743

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,353	10.58	600.47
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,177	1.64	3,766.46

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
一般会計からの繰入金で賄っている部分もある。工事や業務は、補助金や起債を積極的に利用し、一般会計からの繰入額を減らし、数値を改善していくよう努める。

④企業債残高対事業規模比率
大型事業の実施により起債の償還額が増加する見込みである。今後も、施設改良のため企業債の発行が考えられるので、平準化するように計画的に進めていく。

⑤経費回収比率・⑥汚水処理原価
小規模な事業を削減し、大規模改修事業に集中している。大規模事業には補助金や起債を活用しており、単独費の支出については抑制していく。

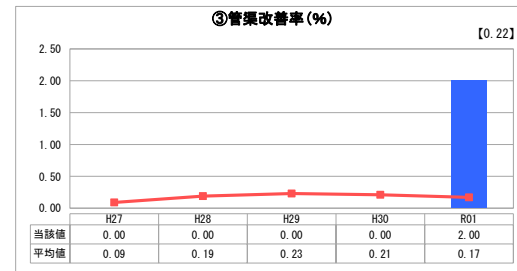
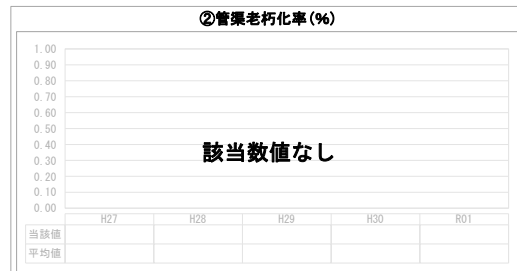
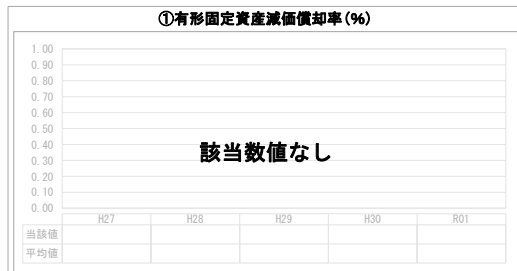
⑦施設利用率
処理は大竹市に委託しているため、利用率が0%になっている。

⑧水洗化率
排水区域内においては、すでに水洗化率は100%となっている。今後、新設住宅等の接続漏れが無いよう注視しながら、現状維持に努める。

2. 老朽化の状況について

管路・施設に老朽化は著しく、社会資本整備総合交付金事業を利用し改築事業を実施予定。今後は、ストックマネジメント計画を策定し、布設替えに対する優先度をはき出し、優先度が高い箇所については、早急に更新工事を行う必要がある。ポンプ場施設についても管路と同様にストックマネジメント計画を策定し、設備・機器等の更新工事を実施する予定。

2. 老朽化の状況



全体総括

今後は施設の更新が急務になり、厳しい運営が強いられることになる。経営戦略の策定および企業会計への移行を予定しているため、財政状況を確認しながら、高率の補助金を適用することや起債の適用、料金改定も視野に入れ、安定的な事業運営を行っていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。